



9月3日ポーポキの日です！ご存知でした？ロニーとポーポキが初めて出会った日です。生まれたばかりのポーポキは、ロニーの近所の公園のごみ箱に捨てられました。数日も雨が降り続けていたため、ポーポキは泥んこになり、寒そうに鳴いていました。ロニーは、そんなちっちゃなポーポキをつれて帰りました。ポーポキにとってもロニーにとってもとてもラッキーな日でした。

Popoki's Hot News



ポーポキのピース・チャレンジ in 灘区！まだまだ先ですが、助成金をいただき、平和の写真展とピース・マップづくりイベントを開催します。森住卓さんの写真、講演（1月8日）・・・そして森住さんはマップづくり（1月9日）にも参加してくれます！2010.1.8-15：神戸学生青年センター！一緒にどうぞ！



ポーポキとミミちゃんはピース・マシンに乗って、出発しています！
『岩波 DVD フック Peace Archives 東京・ゲルニカ・重慶 空襲から平和を考える』は先日発行されました！今回の「ピース・マシンの旅」のテーマは空襲です。17分（毎回同様、英語字幕スーパー付き）。平和学習にぜひお役立ててください。



「やさしいから人間なんです展
パート20」 世界人権宣言 60
周年記念ポスター展は、9月28日
から11月5日まで、京都精華大
学の情報館でご覧になれます。ど
なたでもOKです！

（平日 8:30-20:30、土曜日 8:30-18:00）

http://johokan.kyoto-seika.ac.jp/modules/contents/index.php?content_id=19



写真：神戸 YMCA で展示されたポスター



NPO 法人 W・I・N・Gー路をはこぶー Tamariba でのワークショップ

浦井加奈

9月5日 まだまだ暑い晴れの日、大阪西成区にある NPO 法人 W・I・N・Gー路をはこぶーのフリースペース “Tamariba”で、ワークショップをしてきました。ワークショップ参加者はアレキサンダー先生と、神戸大学の学生4名、それと私です。W・I・N・Gー路をはこぶーは、重症心身障害者施設です。この日、集まってくれた施設利用者の人たちも、体を動かすことや、コミュニケーションに重い障害をもつ人たちでした。

Tamariba に着くと皆さん、ランチタイムでご飯を食べていました。私たちも、お邪魔してご飯と一緒に食べました。その後しばらくたってからワークショップ開始！

今回はポーポキ・ピースブック2を使い、友情についての皆さんと一緒に考える機会にしました。メンバーはそれぞれ猫、ねずみ、ウサギなどの動物に変身！ピースブックを読み、「友情の感触ってこんなのかなあ〜？」なんていいながら、劇をしました。Tamariba の皆さんも、空き缶かしゃかしゃ道具を使ってそれに参加！最初は緊張したけど、少しずつ仲良くなっていきました。



劇の後は、絵の具を使って大きなポーポキに手形や足形のデゴレーションをしました。Tamariba の人たちも、はけで絵の具を手のひらや足の裏にぬる感触が楽しそうでした。

最後は Tamariba メンバーから、「翼をください」の歌のサプライズプレゼントが！とても嬉しかったです。

重い障害をもつ人たちとのコミュニケーションは難しいこともあります。日常で使っている言葉やジェスチャーだけでは伝わりにくかったり、逆に不快感につながったりすることもあります。今回も、新しい取り組みがどこまで伝わったかわからないけれど、何か私たちのワークショップから何か感じ取れるものがあつたとしたら嬉しいな、と思います。

以下は、参加者の感想です。

今日はとても楽しかったです！友だちになれるかどうか心配でしたので、みなさんに助けていただきながら一緒に楽しむことができたのは一番うれしかったです。ポーポキ・ピース・プロジェクトの皆さんの演技はとても上手だったので、私は一人で好きな演技をしたりして遊んでいました。反省点はいろいろありますが、今後の課題として、プログラムのはじめ方や閉め方など、プログラム内容だけではなく、流れも考えたいと思います。なによりも、浦井さんをはじめ、参加者、関係者の皆さんに本当にありがとう！（アレキサンダー先生）





W・I・N・G スタッフとメンバーとのワークショップ 私にとって重要でした。なぜなら初めて障害者の人たちと接した経験だったからです。彼らと幸せを分かち合うことができ、彼ら自身の「やろう！」とする気持ちから学ぶことができるということを、すぐにわかりました。友達と一緒にうさぎちゃんになることができたのは楽しかったし、こんなに素晴らしい人たちに会うことができるチャンスがあったことを、嬉しく思っています。(ソフィアさん)

今回のワークショップを通じて、私は改めてコミュニケーションの楽しさと難しさを学びました。言葉や表情以外でいかに相手の気持ちを理解するか、いかに自分の気持ちを表現するかという点で沢山学ぶべき姿勢があったからです。どこまでワークショップの内容を伝えることができたのかはわかりませんが、大変貴重な時間をとても楽しく過ごすことができ、とても感謝しています。(吉岩さん)

とても面白かった。劇を初めて行った。みんな上手くなせたと思う。ただ、台本があったらもっとやりやすかったのかなと感じた。みんなとお友達になれたか分からなかったが、最後に「翼をください」の合唱を聞かせてもらい、鳥肌が立つほど興奮した。参加してよかったと感じた。皆様、ありがとうございました。(あつし)

「楽しかった！」これが素直な感想です。演技を交えてのワークショップは初めてで、不安もあったけれど、みんなで力を合わせてできたことが、よかったと思います。これから、もっと良いワークショップになっていく可能性を感じました。このような機会を与えていただきありがとうございました。(たけし)



TAMARIBA のみなさま、ありがとう！

ワークショップ「ポーポキ・平和ってなに色？」

永重 史郎



2009年9月7日(日)午後、ホテルグランヴィア大阪で開かれた「パシイワ¹」さまの定例会に、ロニー先生が招かれました。さとこさんと私は、ワークショップのお手伝いとして参加。ワークショップは、さとニャンの“ポガ”で皆さんがリラックスした後、「ポーポキ平和って、なに色？」をテーマに、約一時間半パワーポイントとDVDを使って行ないました。参加者(21名)全員女性で社会活動をされている皆さんだけに、ロニー先生の話を熱心に聞かれていました。特に、DVD「ポーポキとロニー」のstoryは、皆さん何かを感じられた様子でした。

“平和にはどれが最も重要？”の問いかけに各テーブルからは、衣食住・多様性・いのち、の意見が多く出ました。一方、女性の平和・男性の平和について考え方の違いは無い、との意見もあり正に多様性を認識させられました。

“戦争って、なに色？ 記憶は？ 味は？ においは？”

- * 黒（ネガティブな気持ち？）
- * 赤（血を連想？）
- * 白（包帯を連想？）
- * 他にどんな色があるだろう？
- * においは、硝煙の匂い
- * 防空壕のカビや土の匂い

他、皆さんから貴重な意見がたくさん聞けました。

- * 防空壕は安全ではない、生き埋めになるから
- * 空襲当時は、今日生きるか、明日ダメか、をいつも思っていた
- * B29の音は特別で忘れることが出来ない。今の飛行機の音とは全然違う。だいたい、ものすごい数の編隊が来るので、地鳴りがした
- * 庭をつぶして、サツマイモや南京を作った（おなかの膨れるもの）
- * 味は、調味料はなかったのでまずい
- * 海水から、塩を採ったし、芋を海水で洗って食べた
- * タンパク質として、イナゴを食べた
- * 学校でイナゴを捕まってくるようにいわれた



これらの事は、実体験のない戦後生まれの私には実感としては難しいですが、大変なことであることは理解出来ます。戦争の怖さ、いのちの尊さがよく伝わります。

最近、story tellingがよく使われています。これは、自分の体験や考えを表現して相手に伝え、

¹ パシイワ PPSEAWA] 日本汎太平洋東南アジア婦人協会; Pan-Pacific and South-East Asia Women's Association of Japan

平和についての問題などを共有しようというもの。一口に、平和とは何か？といっても、各人いろんな考え方・感じ方があり、これが正解と断定できるものではなく、いろんな考え方があって当然でしょう。それらの中からベクトルを合わせていくことが、平和とは何かを求める方法の一つかもしれないですね。私たち自身自問して、それをオープンにすることが大切だと思います。「ポーポキ・ピース・プロジェクト」は、これからもいろんな人たちとの交流を通して、「平和の色」を探していきます。今日の参加者の方が、“ポーポキからいろんなメッセージを受けることが出来てよかった。”というご意見をいただき、私たちの力になりました。

最後に、このパシイワ会にお招き頂き多大なご支援とお世話になりました、西出郁代さま、バックス井上幸子さまに深くお礼申し上げます。ありがとうございました。



最近のポー会の様子…



広島で「実りある人生」のスタッフが沼田鈴子さんに訪問

先日、鶴田マリ先生の自伝『実りある人』の出版にかかわったスタッフが広島で集まりました。* 日本語訳は田村雄司先生が担当し、谷本秀康先生、谷本久美子先生、ロニーが編集作業を手伝いました。お昼を食べてからみんなでポーポキの友達で被爆者の沼田鈴子さんに訪問しました。約 30 年前に、広島 YMCA で沼田さんに日米高校生のプログラムに証言していただきましたが、そのときのプログラム担当はロニー、通訳は谷本秀康先生でした。沼田さんが谷本先生に「大きくなったね！」と懐かしそうに歓迎してくれました。また、沼田さんと鶴田先生は戦争直後の広島の様子や平和の意味について語り、他の全員が感銘を受けました。沼田さんは子どもたちに証言するときにポーポキの本を使って、平和や友情について語るそうです。みなさん、ありがとう！（ロニー）



*『実りある人生』(エピック2009)



前(左から): 鶴田マリ先生、谷本秀康先生、
谷本久美子先生
後: ロニー、田村雄司先生



ポーポキの友人から原稿が届きました！

宇留賀佳代子

8月の一ヶ月間、東京・稲城市中央図書館における、「絵本『ピンク色の雲』とロシア、日本の子どもたちの交流展」で、ポーポキも参加してくれました。売上は6冊とささやかなものですが、稲城の子どもたちにも少しずつ、ポーポキが広まっていくことを願っています。

宇留賀さん、ありがとう！



ポーポキのもうひとりの友人、斎藤雅志さんの写真を見たら、「ポーポキ通信」の読者のみなさまにもぜひお見せしたいと思いました。斎藤さん、ありがとう！

皆既日食はどんな色？

斎藤雅志

日本国内で46年ぶりとなる皆既日食が7月22日に起きた。太陽が完全に月に隠れる時間が約6分40秒と今世紀最長の大天体ショーに、天文ファンに限らず興奮した人は多かったはずだ。

兵庫県立大は、皆既日食の時間が国内最長で、天候が安定している小笠原諸島の北硫黄島沖で観測できる客船での皆既日食見学ツアーを企画。申込者が殺到する中、なんとか乗船券を入手することができた。

全国から500人を超える参加者が集まり、大型客船「ふじ丸」で20日に姫路港を出航。約1200キロ離れた目的地を目指した。トカラ列島の悪石島や奄美大島などが観測地として注目されていたが、晴れ間を探して洋上を移動できる船は“動く観測所”となり、北硫黄島沖では見事な皆既日食を見ることができた。

新聞に掲載された写真やテレビの画像では、「黒い太陽」の周りに白いコロナという、モノクロームの世界。が、肉眼では、色がわかる。

では、皆既日食は何色でしょう？

真っ赤な太陽のイメージの赤？それとも、十五夜お月さんのイメージの黄色？両方が重なるから、だいたい色？それは、美しい？それとも、不気味？

わたしには、黒い太陽から黄金色の光が放射されているように見えた。とても神秘的で、美しい光景だった。

同時に、ふと思った。日食の原理を知らない人が皆既日食の現場に立ち合った場合、同じように感動するだろうか？突然、周囲が真っ暗になり、太陽はまるで真ん中に大きな穴が開いたようにも見える。不気味で、世界の終焉を想像するだろう。

知らないって、こういうことだと思う。その国のこと、その宗教のこと、その民族のことをよく知らないうちに想像が先行し、一つのイメージが形成される。知らないことは、楽かもしれないが、幸せではないかもしれない。知ることは、幸福や平和に不可欠かもしれない。

皆既日食を一度見れば、「日食病」になることも多いという。美しさと感動を知ってしまい、皆既日食ハンターになることだ。「日食病」にかかり、ツアー費用の捻出と休暇の取得に奔走すること、日食について詳しく知らないままの状態。さて、どちらが幸せなんだろう？なんだか分からなくなってきた。

ともあれ、次回の日国内での皆既日食は、2035年9月2日。北陸から北関東にかけて観測できる。

写真(次ページから)：

- 1: 皆既日食を迎えた太陽＝いずれも北硫黄島沖
- 2: 皆既日食を終た直後に見られたダイヤモンドリング
- 3: 「ふじ丸」の甲板で皆既日食を観測する人たち







ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 16

お元気でお過ごしでしょうか。ストレスは大丈夫ですか？今月は、座ったままのポガでリラックスしましょう。

1. いつものように、背筋を伸ばし、自分を細く見せながらちゃんと座りましょう。
2. では、頭、尻尾、目、耳、みんな右へストレッチ！
3. 次に左へストレッチ！
4. そして、最後に前へ！
5. できた、できた！！ マスクなんかいらない！では、できたポーズをどうぞ。



第16回目のポガ・レッスンはこれで終わります。おつかれさまです！毎日、最低3分間を練習するのを忘れないようにね。

一緒にいかが？

9.29 ポー会 神戸 YMCA 三宮会館 304 19:00-21:00

9.27 平和教育シンポジウム（広島）（田村かすみさん）

10.25 神戸市北区母親大会？ しあわせの村

12.23-2010.1.2 ポーポ in パレスチナ・イスラエル2

2010.1.8-15 ポーポキと一緒に平和を探そう！ ポーポキ・ピース・チャレンジ 森住卓
写真展、講演（8日）、ポーポキのピース・マップ作り（9日）

ポーポキinメディア

- ・「『ポーポキ、友情って、なに色？』」「私のいち押し」 奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243
- ・「友情って…考える絵本」 朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- ・「友情を考えて～人間と、ねこと、そして自分と～」 れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- ・「カティング・エッジ」 第 35 号 2009.6「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なにポーポキのピース・ブック 2』」(レベッカ・ジェにスン) p.3
- ・「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- ・「ポーポキ、平和ってなに色？」 KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- ・「ポーポキ、ゴミってなに色？」 KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- ・「友だちになってくれませんか？」 RST/ALN 2009.2.22
- ・ラジオ番組の中のポーポキ！！プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組をクリック。番組CHの6CHをクリック。
- ・やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』 ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhgy@osk3.3web.ne.jp
- ・「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」 エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- ・「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」 Kumamoto YMCA News 10 Vol.437 October 2008, p.1
- ・神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」 2008.10.8. 10 面
- ・「社説 終戦の日」 神戸新聞 2008. 8. 15
- ・中国新聞「核廃絶への視点」 2008. 7. 27 (核抑止論について…。3時間！？！にわたる取材で一生懸命にポーポキのことを話したのに…。)
- ・(社)ひょうご部落解放・人権研究所発行の機関誌『ひょうご部落解放』(2008. 6 月(夏)に「人権宣言 60 周年」のポーポキ・ポスターの一部も載っていますよ！



色？

* ポーポキ通信のバックナンバー: <http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

私にとってのポーポキ



Sofia Villacorta

私は 1 年前に幸運なことにポーポキについて耳にしました。その時から、さまざまな出自でそれぞれの経験を持ちながらも、「世界の平和について注意深く考え人々のために行動する」という共通の目的を持つ新しい人たちに会うチャンスに恵まれてきました。

ポーポキ・ピース・プロジェクトのメンバーやプロジェクトに関心のある人たちは、私のアイデアをいつも受け入れてくれます。言葉の壁があるにもかかわらず、平和と友情についての自分たちの経験を分かち合うことはとても重要です。なぜなら、平和と友情の概念はそれぞれの文化において必ずしも同じであるとは限らないと思うからです。

私は中央アメリカの最も小さな国、エルサルバドルから来ました。エルサルバドルでは、暴力や抑圧が人々の心や国の歴史に大きな影響をあたえてきました。このようなバックグラウンドを持つので、平和について考えることは私にとって特別な意味があります。ポーポキとの活動のひとつひとつが、暴力、戦争、アイデンティティ、そして平和といった概念について、人々がどのように考えるのかを私に教えてくれます。そして実際の活動の中で、私の経験を他の人たちと共有し、他の人たちからも学ぶことが、より心地よいと感じます。私の友人たちは、それぞれの概念について彼ら自身のアイデアを私にいつも教えてくれるので、私は友人にいつも感謝しています。特に、彼らは私に「平和」という漢字の読み方と書き方を辛抱強く教えてくれました！

道はまだまだ長く、私はまだ平和はどのように構築されるべきなのかを理解しようとしています。そしてさらに、私は平和の過程において私がどのように貢献していくことができるのかを学びたいです。それまでの間、私は友人とこのポーポキ・ピース・プロジェクトを共有し、彼らから学ぶことを楽しむでしょう。

¡Muchas gracias por esta oportunidad!

このような機会を頂きましてありがとう！



さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトにご参加のみなさま(ポーポキ平和基金に一口以上を振り込んでいただいたみなさま)には、本がすでにお手元にとどいていると思います。

これからはピース・ワークショップ、ピースキャンプ、翻訳、『ポーポキのピース・ブック 1』などの活動を中心に行なう予定です。ご協力、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。『ポーポキ、平和ってなに色?』についてのコメント、感想、追加注文などについては、popokipeace@yahoo.co.jpにお問い合わせください。
本についての問い合わせや注文はお近くの書店あるいはエピック(TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918)へ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト popokipeace-at-gmail.com

<http://popoki.cruisejapan.com>



郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一円 1500 円 何円でも結構です。



THANK YOU FROM
POPOKI!